



メーデー集会、250人参加で成功！

素晴らしい好天に恵まれた5月1日、メーデー横須賀・三浦地区統一集会在ヴェルニー公園で開催され、250人の参加者の熱気に包まれました。神奈川県労働センター林副議長、かながわ労働センター林副所長、原子力空母市民の会呉東共同代表に続き、今年は横須賀市民九条の会の岸さんと、米軍犯罪と裁判でたたかう山崎正則さんも来賓挨拶し、共産党井坂市議団長も来賓挨拶されました。NPT再検討会議直前という事もあり、三浦市職労や共産党市議団からは、代表が出発したという報告もありました。

初めて参加した医療労働者からは、「改めて基地の町に住むということ、意識した1日でした。」という感想が寄せられています。



再び素晴らしい青空に恵まれた5/16、うみかぜ公園にて、2年ぶりのバーベキューを楽しみました。当日は青年集会や映画の試写会があり、参加者が14人と少なかったのが残念ですが、初夏を思わせる陽気で、「うみかぜ」の中、子どもたちはサッカーを楽しむ事も出来、素晴らしい1日となりました。

なかなか火が着かなかったり、どっかの前議長が何も手伝わなかったりは、ご愛嬌という事で・・・

市民病院の問題で、新たな市民団体発足！！

5/21(金)、西コミュニティセンターで「市民病院を考える市民の集い」が開催され、予想を大きく上回る四十数名が参加し、資料が足りなくなる騒ぎとなりました。この集いは、市長選挙をたたかった組織を改組した「横須賀を良くする会」の地域医療分科会が準備したもので、西地域に1800枚の折込を行っており、ピラを見て参加した若いお母さんが、市民病院が変わって、受診しづらくなった事を切々と訴える場面もありました。集いでは、「市民病院と地域医療を考える会」を発足させました。

また、三浦市立病院問題でも、医師の退職に反対する署名が、土日で1200名も集まるなど、大きな変化が起こりつつあります。

労働相談で、若い女性が組合加盟！

横三労連労連では、神奈川県労働センターから紹介のあった労働相談の中で、歯科医院で働く若い女性Aさんを、神奈川県医労連個人加盟組合に迎え入れました。Aさんは、川崎地域労組で活動する叔父さんから、働くものの権利について教わり、ご自身の勤める歯科医院で有給休暇が与えられない事に疑問を持ち、院長と交渉して有給休暇を勝ち取っています。